

## 2023年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年12月14日

上場会社名 M I C S 化学株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7899 URL <https://www.c-mics.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大塚 茂樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 原川剛一郎 TEL 0561-39-1211  
 四半期報告書提出予定日 2022年12月14日 配当支払開始予定日 2023年1月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年4月期第2四半期の連結業績（2022年5月1日～2022年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年4月期第2四半期	1,377	12.3	50	128.3	53	126.5	34	140.6
2022年4月期第2四半期	1,226	10.5	22	196.0	23	163.6	14	—

(注) 包括利益 2023年4月期第2四半期 35百万円 (157.4%) 2022年4月期第2四半期 13百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年4月期第2四半期	6.53	—
2022年4月期第2四半期	2.72	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年4月期第2四半期	3,836	3,159	82.4	599.67
2022年4月期	3,869	3,142	81.2	597.54

(参考) 自己資本 2023年4月期第2四半期 3,159百万円 2022年4月期 3,142百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年4月期	—	4.00	—	4.00	8.00
2023年4月期	—	4.00	—	—	—
2023年4月期（予想）	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年4月期の連結業績予想（2022年5月1日～2023年4月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,615	0.4	57	12.0	58	9.1	35	10.0	6.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年4月期2Q	5,850,000株	2022年4月期	5,850,000株
② 期末自己株式数	2023年4月期2Q	580,730株	2022年4月期	591,694株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年4月期2Q	5,261,047株	2022年4月期2Q	5,254,136株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8
(追加情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、コロナ禍からの正常化に向けた動きが見られる一方、急激な円安や資源・エネルギー価格の高止まりによる物価上昇により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループの売上高は食品分野を中心にコロナ禍からの需要回復や価格改定の効果などにより1,377百万円（前年同四半期比12.3%増）となりました。

売上高を用途別にみますと、食品分野では惣菜・畜産用途を始めとした全用途での堅調な受注状況により838百万円（前年同四半期比18.3%増）となりました。

非食品分野では電子部品用途は増加したものの、輸出向けの機械用途先での在庫調整や医療用途の大口先の需要が減少し270百万円（前年同四半期比1.1%減）となりました。

商品等につきましては、食品・非食品向けとも増加し269百万円（前年同四半期比10.1%増）となりました。

損益につきましては、効率的な計画生産による製造コストの大幅な削減や不採算製品群の統廃合に取り組み、さらに販売価格改定の効果によって営業利益は50百万円（前年同四半期比128.3%増）、経常利益は53百万円（前年同四半期比126.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は34百万円（前年同四半期比140.6%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,651百万円となり、前連結会計年度末に比べ173百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が49百万円、受取手形及び売掛金が98百万円減少したものの、電子記録債権が33百万円、有価証券が200百万円、商品及び製品が54百万円、仕掛品が30百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は1,185百万円となり、前連結会計年度末に比べ206百万円減少いたしました。これは主に機械装置及び運搬具が14百万円、投資有価証券が199百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は3,836百万円となり、前連結会計年度末に比べ32百万円減少いたしました。

#### (負債)

流動負債は662百万円となり、前連結会計年度末に比べ50百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が18百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が45百万円、その他が25百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は14百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は676百万円となり、前連結会計年度末に比べ50百万円減少いたしました。

#### (純資産)

純資産合計は3,159百万円となり、前連結会計年度末に比べ17百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益34百万円、剰余金の配当21百万円等によるものであります。なお、減資により資本金が674百万円減少し、その他資本剰余金が674百万円増加しました。

この結果、自己資本比率は82.4%となりました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ49百万円減少し、1,250百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は26百万円（前年同期は66百万円の使用）となりました。

これは、棚卸資産の増加額94百万円、仕入債務の減少額45百万円等の減少要因がありましたが、税金等調整前四半期純利益53百万円、減価償却費37百万円、売上債権の減少額65百万円、未払費用の増加額12百万円等の増加要因があったことによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は54百万円（前年同期は31百万円の使用）となりました。

これは有形固定資産の取得による支出26百万円、無形固定資産の取得による支出27百万円等があったことによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は21百万円（前年同期は20百万円の使用）となりました。

これは配当金の支払額21百万円等があったことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年6月14日の「2022年4月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,300,108	1,250,777
受取手形及び売掛金	667,245	568,491
電子記録債権	194,896	228,576
有価証券	100,034	300,173
商品及び製品	88,616	143,247
仕掛品	53,927	84,487
原材料及び貯蔵品	52,304	61,802
その他	20,870	14,352
貸倒引当金	△407	△340
流動資産合計	2,477,597	2,651,569
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	288,171	288,060
機械装置及び運搬具 (純額)	150,381	135,905
土地	634,701	634,701
その他 (純額)	9,474	7,868
有形固定資産合計	1,082,729	1,066,535
無形固定資産	49,184	50,848
投資その他の資産		
投資有価証券	229,160	29,961
繰延税金資産	14,133	21,548
その他	17,473	17,120
貸倒引当金	△1,031	△934
投資その他の資産合計	259,735	67,695
固定資産合計	1,391,649	1,185,079
資産合計	3,869,247	3,836,649

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	523,996	478,790
短期借入金	12,000	12,000
未払法人税等	8,221	26,830
役員賞与引当金	—	1,560
その他	168,908	143,229
流動負債合計	713,125	662,410
固定負債		
退職給付に係る負債	628	936
資産除去債務	10,500	10,500
その他	2,954	2,954
固定負債合計	14,082	14,390
負債合計	727,208	676,801
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	774,000	100,000
資本剰余金	1,150,310	1,824,310
利益剰余金	1,850,689	1,862,704
自己株式	△255,235	△250,505
株主資本合計	3,519,764	3,536,508
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,807	10,872
土地再評価差額金	△387,533	△387,533
その他の包括利益累計額合計	△377,725	△376,660
純資産合計	3,142,038	3,159,848
負債純資産合計	3,869,247	3,836,649

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年5月1日 至 2021年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)
売上高	1,226,062	1,377,350
売上原価	859,670	970,823
売上総利益	366,391	406,526
販売費及び一般管理費	344,336	356,172
営業利益	22,055	50,353
営業外収益		
受取利息	220	216
受取配当金	713	775
受取補償金	662	904
その他	509	1,814
営業外収益合計	2,106	3,711
営業外費用		
支払利息	79	77
固定資産除却損	244	0
その他	6	0
営業外費用合計	330	78
経常利益	23,831	53,987
税金等調整前四半期純利益	23,831	53,987
法人税、住民税及び事業税	7,798	27,023
法人税等調整額	1,746	△7,415
法人税等合計	9,545	19,608
四半期純利益	14,286	34,379
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,286	34,379

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年5月1日 至 2021年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)
四半期純利益	14,286	34,379
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△513	1,064
その他の包括利益合計	△513	1,064
四半期包括利益	13,772	35,443
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,772	35,443

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年5月1日 至 2021年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	23,831	53,987
減価償却費	39,464	37,200
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	67	△163
受取利息及び受取配当金	△934	△992
支払利息	79	77
売上債権の増減額 (△は増加)	△117,403	65,073
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△32,055	△94,688
仕入債務の増減額 (△は減少)	60,866	△45,206
未払金の増減額 (△は減少)	12,165	△8,203
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△37,611	7,244
未払費用の増減額 (△は減少)	△2,947	12,122
その他	4,358	347
小計	△50,120	26,799
利息及び配当金の受取額	1,053	1,115
利息の支払額	△79	△77
法人税等の支払額	△17,369	△1,297
営業活動によるキャッシュ・フロー	△66,515	26,540
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△27,824	△26,657
無形固定資産の取得による支出	△3,432	△27,983
その他	△25	△163
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31,281	△54,803
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△20,938	△21,067
その他	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△20,938	△21,068
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△118,735	△49,331
現金及び現金同等物の期首残高	1,398,860	1,300,108
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,280,124	1,250,777

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年7月28日開催の第53期定時株主総会の決議により、会社法第447条第1項の規定に基づき、2022年9月2日を効力発生日として、資本金674,000千円を減少し、その他資本剰余金に振り替えております。この結果、資本金は100,000千円、資本剰余金1,824,310千円となっております。

なお、株主資本の合計金額への影響はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、プラスチックフィルム製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス、ロシア・ウクライナ情勢に関する会計上の見積りについて)

前連結会計年度の決算短信に記載した新型コロナウイルスの収束時期及びロシア・ウクライナ情勢による円安や原油高の影響を含む仮定について、重要な変更はありません。